

CRESCENDO Third

It is completely connected
this time with
the past story, too.
"RURI A-PART"
Associate a little more.



ADULT ONLY



CRESCENDO THIRD

J BAKU-SYSTEM

2000.12.30

It is completely connected this
time with the past story, too.

"RURI A-PART"

Associate a little more.

Jibaku-SYSEM Presents COMIC MARKET 59 CRESCENDO 3

Comics

CRESCENDO 3	樹碧唯旅	11
「そなえあれば…」	すとれーとF	37

Novels

「流浪の民」	しだれ桜	5
--------	------	---

DAY LIGHT STAFF (あとがき)		42
------------------------	--	----

Internet Go To Access

Copyright © 2000 Jibaku System
 all rights reserved. no part of this book may be reproduced or transmitted in any form or by any means,
 electronic or mechanical, including photocopying or recording, without permission in writing from publisher.
 published and distributed by Jibaku System keeping group.

流浪の民

— a nomadic people. —

Sentence したれ桜

いつも繰り返す言葉。
からっぽの私を埋める言葉。

0

私の言葉は、あの人の言葉。

あの人の言葉は、私の言葉。

私の目は、あの人の目。

あの人の目は、私の目。

私の腕は、あの人の腕。

あの人の腕は、私の腕。

私の足は、あの人の足。

あの人の足は、私の足。

私の心のは、あの人の心。

あの人の心は、私の心。

私の思いは、あの人の…。

あの人の思いは、私の思い。

私は、あの人。

あの人は、私…？

1

「ラピス」

あの人の言葉は、優しく私を包む。

その言葉に包まれて、私は至福の時の中で目を覚ました。

「はい」

その言葉に答えることが、私にとって唯一の世界。

「いけるか？」

その言葉にゆっくりとうなずく。
「1時間後にスタンバイ終了します」
ナデシコC試験艦ユーチャリス。
この船は、私の身体。

そして、私はこの船の心。
私にとって自由になるたった一つのもの。
私は私の身体を使って精一杯アキトの思いに答える。

「たのむ」

アキトはそう言って背を向ける。

同時にウインドウが消える。

笑顔は見えない。
見たこともない。
だから…。

見てみたい。

あの人の心からの笑顔。

2

今日もネルガルのために、空を駆けた。

あの戦いの残党狩り。

今の私達の主な仕事。
あの戦いが終わり、行く当てもない人たち。
それを…。

どこにも行く当てもない私達が狩る。

…。

私達の存在意義はどこにあるのだろうか？

思わず小さく笑う。

また、明日も空を駆ける。

あの人のために…。

それは私のため…。

そう思いながら。

それでもしなければ。

本当に私はからっぽのまま。

からっぽのまま。

私には目的はない。
生きるための目的。
何のために作られたのか。
分からないから…。
だから、あの人に全てを託す。
私を救い出してくれたあの人の。

目を閉じて思う。
あの人のことを。

でも、あの人の心の中にいる人は、私じゃない。

せめて思ってみる…。

それしか許されないから。

届かない、私の思い。

3

ささやかな静けさの中に私は一人。

操船室の中。
椅子が一つあるだけの部屋の中。
ここがユーチャリスの中核。

心のありか。

ここで私は私の身体を思いのままに動かす。

そして空を駆ける。

あの人のために…。

そう、あの人のため。

ネルガルという会社には興味はない。
いくら頼んでもネルガルのためには飛ぶつもりもない。

身体を作ってくれたこと、私をあの人の会わせてくれたこと。

その事実には、感謝はできても。

心だけは渡せない。

何かしてくれただけ？

私を作ってくれと頼んだおぼえもない。

でも、私は作られて、生まれて…。

目的もないままの生を与えられて。

あの人以上の何も見えないまま…。

生きて…。

だからこそ、時々考える。
何故、私は作られたのか？
研究のため？

分からない。

悩んでみる。

でも、見えない。

分からない。

分からない。

押しつぶされそうになる。

そんな思いに……

4

「ラピス」

ウインドウ越しのあの人の声。
はっとして顔を上げる。

「どうした？ 寝ていたのか？」
気づかうような優しい声。

「いいえ、少し考え事をしてました」
「珍しいな」

私だけにかけてくれる言葉。
生きてる意味が分からなくてもいい。

この声があれば。
私のものにならなくても。

たとえ手が。

思いが。

届かなくても……

この声があれば。
今だけは、この人は私の側にいるのだから。

「敵の様子は……」
「停船勧告並びに降伏勧告はしました。」

返答は無し。
あくまで戦うつもりのような様子

いつものような事務的な返事。
「……なんで、わざわざ命を捨てるようなまねをする」

少しいらだちを含んだあの人の声。
「ディストーションフィールド、出力あげます。
30秒後に、グラビティプラスト来ます。
応戦しますか？」

あの人は一瞬だけ、躊躇した。
「ラピスはどう見る？」

「重力砲はあくまで固。
それで気をひきつけて、機動兵器での白兵戦。
本命はそちらでしよう」

思ったことを即座に口にした。

「何故そう思う？」

「グラビティプラストのエネルギー出力です。
連射できるように押さえています。
こちらの反撃を封じるためだとしたら」

あの人は苦笑した。
「本命は別にある……か」

「明らかに時間を稼いでいるような動きです」
私はうなずきながら答えた。

何故、時間を稼ぐ必要があるのか？
「もしかして……」

別の考えが私の中に浮かんでくる。
その時、私の中に外の様子が情報として流れ込んで

きた。
「ミサイルが発射されました。
同時に機動兵器。
ステンクルーゲル二機」

あの人は舌打ちをする。
そして忌々しげに呟いた。

「グラビティプラストで応戦。その後はこちらも出

る」

「了解」
答えたとき敵の重力砲で、私の身体が激しくゆれた。

戦うこと。

今の目の前に広がる戦い。
無人機や重力砲ではあの人を巻き込んでしまう。

だから、見守るだけ。
目に映るのではなく、
脳裏に広がる世界のただ無事を祈る。

戦うこと。

今の目の前に広がる戦い。
無人機や重力砲ではあの人を巻き込んでしまう。

だから、見守るだけ。
目に映るのではなく、
脳裏に広がる世界のただ無事を祈る。

脳裏に広がる世界のただ無事を祈る。

繰り広げられる一対一の近接戦闘。
二機の内の一機はすでに沈んでいた。
戦艦も私の重力砲の一撃で、形をなしていない。
力の差はこれだけあるのに。

伝えたのに。
少し考えれば分かることなのに。

私には理解できない。

私みたいな作られた命ならばともかく、
そうでないのにわざと死のうとしてしているように見

える。
自殺したいのだろうか？

私には理解できなかった。

あの船にいた人たちも、私と同じように生きる意味
が分からなかったのだろうか？
だから、死に場所を求めていた？

私の頭の中では、あの人が私の知らない誰かと死闘
が繰り広げられている。
あの人が簡単に後れをとるようなことはない。

そう思いながらも……
いつもあの人の戦いを見守るときは不安になる。

胸が締め付けられる。
苦しくなる。

どうか無事に帰ってきてほしいと思う。
手助けをできるような戦いではないから。

無事を祈りながら、ただ見守る。
激しい戦いを見守っている。

気を抜いたとき。
私の中に緊急信号が鳴り響く。

頭の中に直接入ってくる情報。
思わず口にする。

「うそ……」

ボース粒子の増大？
ボゾンジャンプ！

あの人に教えないと！
私がそう思ったとき、あの人の戦っている宙域に向

けて重力砲が飛んだ。
あの時に感じた違和感。

時間を稼ぐ理由。

あの時に感じた違和感。

時間を稼ぐ理由。

時間を稼ぐ理由。

なんで気がつかなかったの！
なんであの考えを否定したの！
私は私をなじりながら現れた敵に全ての感情を叩き込んだ。

跡形もなく吹き飛ぶ。

そしてスキャン。

あの人の機体は見あたらなかった。

あの人の機体は影も形もなかった。

あの人は答えなかった。

あの人は答えなかった！

「いやあああああああああああ！」

6

私は泣いていた。

もしかしたらはじめて泣いたのかもしれない。

そう思えるほど。

あの後も必死になって、探した。

求めた。

あの人の姿を。

心から求めた。

お願い。

一縷の思いを心の中に。

それでも時間は無情だった。

膝を抱えて。

はじめて泣いた。

私は一人になった。

私は一人になった。

どうすればいいのかわからないまま。

はじめて知った。
無くしたときの。

失ったときの。

バカ。

私はバカだ…。

なんで、今まで気がつかなかったんだろう。

愛していたとか。

好きだったとか。

そんなこと関係ない！

ただ、側にいてほしかっただけ。

「私を一人にしないで…」

口をついて出た言葉。

否定しなかった。

「私を一人にしないで」

空がこんなにも孤独だなんて…。

知らなかった。

ううん。

忘れてたの。

あの人の心が。

ここにあると思っていたから。

本当は…。

ないことは知っていた。

あの人の心が…。

もうどうでもいい。
お願い…。

無事でいて。

涙がこぼれるたび。

私の中から何か流れ落ちて行く。

からっぽの私の中にあつたもの。

あの人の存在が。

涙とともに流れ落ちて行く。

からっぽの私が…。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

とまらなかつた。

そっか。
はじめて気がついた。
やっとな理解できた。

私の中に何も無いと思っていたけど…。
あの人を思う気持ちは。

それだけは残って…。

私はからっぽだと思っていたのに。

あの人を思う気持ちだけは。

それだけは私の中にあつて。

私はからっぽじゃないって。

はじめて分かった。

今になって…。

だから…。

今になって…。

生まれてきた意味は分からなくても。

作られた意味は分からなくても。

こうやって。

心にもつた思いは。

それだけは、まぎれもない私だけのもの。

私だけのもの…。

意味は。

こうして、心にもつて行く。

それを教えてくれた。

それを与えてくれた。

あの人。

笑わなくてもいい。

私を見なくてもいい。

どうか…。

生きていてほしい。

抱えていた膝をといて。

ゆっくりと息を吸う。

もう一度。

身体を起こして。

目をこらしてみる。

耳をすましてみる。

あの人を捜すために。

そして。

私の耳に。

目に。

心に。

何かを感じる。

ポソンの波が。

私の手に触れた。

8

ポソンジャンプをして。

あの人が帰ってきた。

「グラビティブラストを受けたとき。

行き先を考えずに慌てて飛んだ」

彼は無表情のまま、そう言った。

おかげで、私は。

あの人を36時間も捜したのに。

生きてた。

思わず顔がほころんだ。

また、心に“何か”をつもらせることができる。

あの人のおかげで。
からっぽの私に何かをつもらせることができる。

あの方は。

私に意味を与えてくれた。

からっぽの私に…。

あの人の中を見たとき。

私の中が新しい何かで満たされていた。

胸をつく思いに満たされていた。

だから、思わず。

「おかげささい」

そう言っていた。

あの方は、何も答えなかった。

無言のまま、少しうつむいた。

ううん。

うなずいた。

でも、笑顔は見せなかった。

まるで、どこかに置いてきたように。

そう思えた。

私のためには笑ってくれない。

それでも構わない。

知ってるから。

あの方の心のありかを…。

でも、私は。

あの方のために今日も空を飛ぶ。

私を私で満たすために…。

EXCUSE

なんの事はありません、第一の原因は時間がなかっただけです。

はい、スケジュールミスです。

11月29日に仕事一息ついて12月5日に表紙先行入稿…

そこからネーム開始…

頭の回転数低いし平均鶴とすると亀の速度な運筆状態。

ペン入れ、トーン貼の時間なかったです…

第二の原因として、時間あっても鉛筆本作ってたかもという事。

そうなんです、鉛筆だけで本作るほうが楽しかったりして…

駄目駄目ですなーはっはっはっ

それと今回また続きでおわってます。

許してくれ～だってな～今回、

ネームだけで50ページ超…

圧縮しても42ページになっちゃって、終わるわけがない…

CRE3は切の良い26ページまで収録しました。

で、未収録分の16ページはCRE4へ…

とゆ～わけでCRESCENDO4の製作に入ります。

決まっはいたんだけど予定外に発生

内容は自分の書くのが今回の続き

16ページ(アキト×ルリ)と

8～16ページもの(アキト×ラビス)、

もちろん両方共漫画、成人向です。

それと他のメンバーが作成可能なら…

仕事の都合(他のメンバー込み)にもよりますが

2月～4月位に

完成させたいと思います(思うのは自由…)。

まだ見捨てないでいてくれたら

見てやってくださいませませ。

追伸：他の本も作りてえ～

は、引換です。

21世紀はもろって
まじめは活動しはり
でな—
HPもなんやが
せん—と
トキ—

今、ペン入れで
こまめに貼ってすよ—
兄を
ミジキ
すねんも





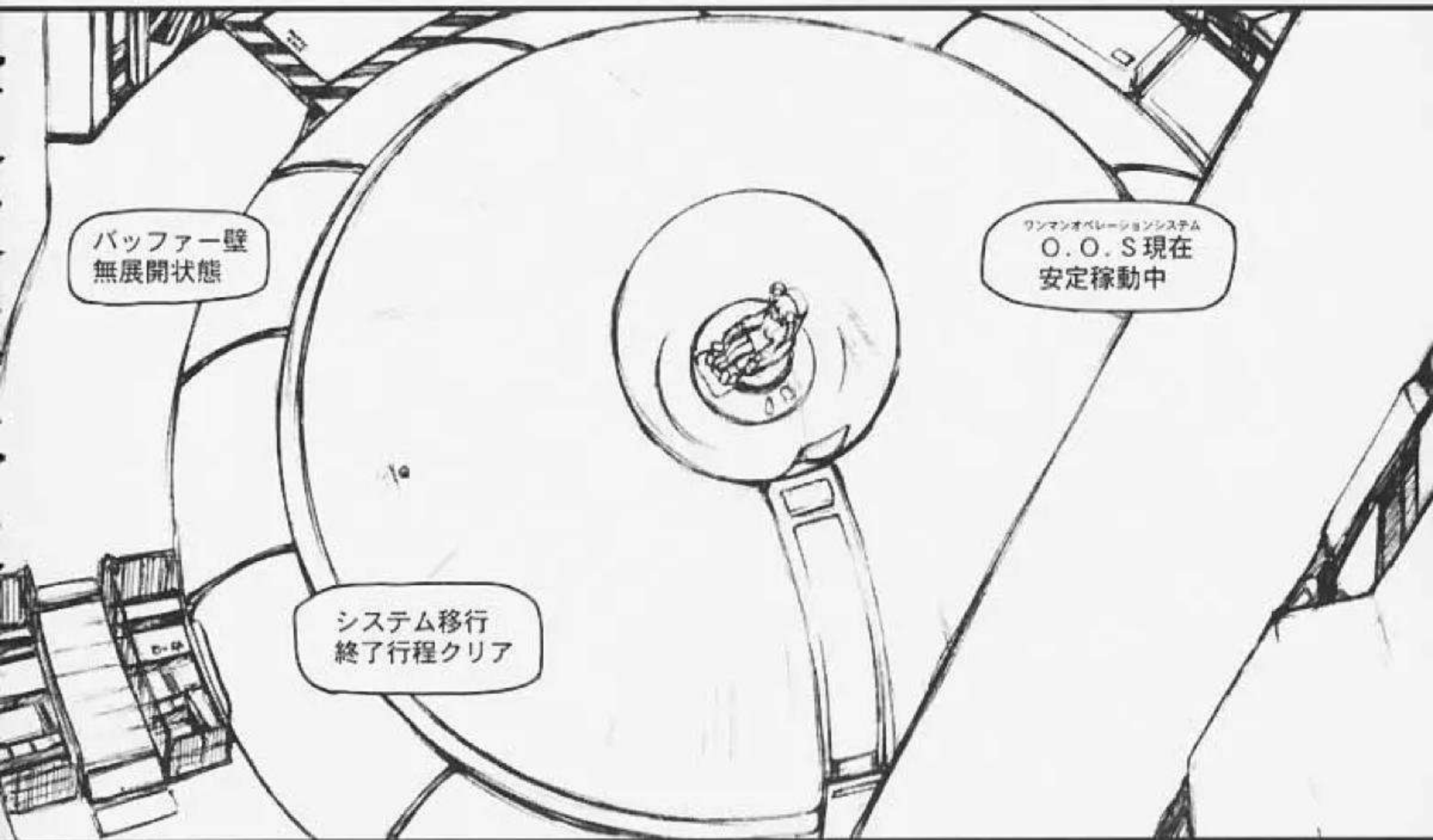
夜中



アキト...



この夜の帳まゆりが明けたら...





ルリちゃん実験終了
ご苦労様

フム



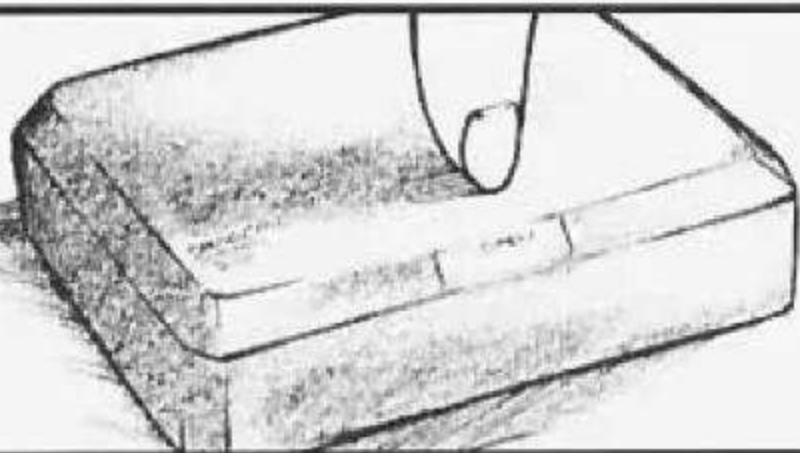
でも

とじちかしてあげよう

BEAR

アキト君との同棲生活は
うまくいってるようね…

はい



もう痛み止めは
いりません

残り4日分の
避妊薬と鎮痛剤

性・活・か・し・ら・ね



そこんとお姉さんに
詳しく精密に微に入り細に
話して頂戴

え、あの…



あら

ルリちゃんたら、たった
3日でもう良くなったの？

あ、あの…いえ
薬を飲むほどは…

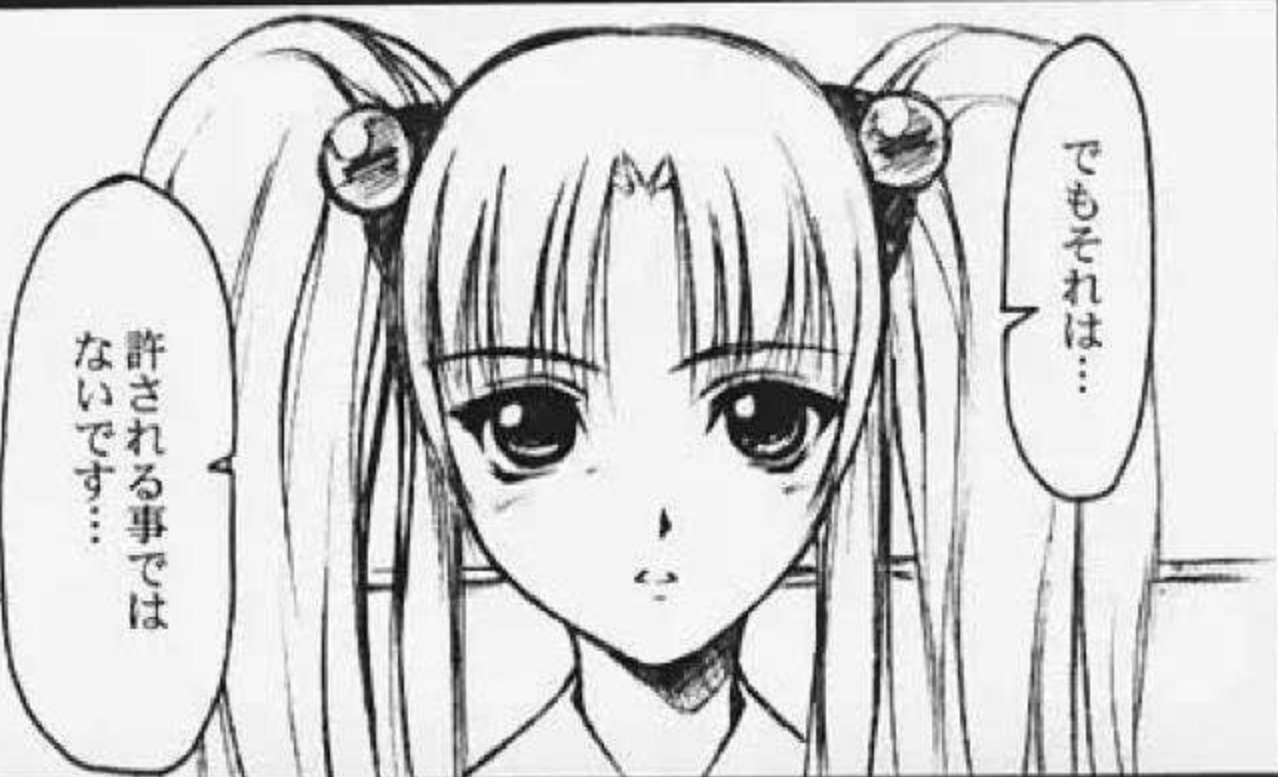
ふーん最初は？

…死んじゃうかと
思いました…



……

あの日から…テンカワさんが艦長にプロポーズしてから…
…私の性能は徐々に落ちていた…原因は精神的なもの…



許される事ではないです…

でもそれは…

この事実は本来ね
AAA級より上のS級…

存在しないカテゴリーに
対するものなのよ…



アキトがルリを
ユリカと見做しては
居るのではなか
らぬ。

本当の問題はなに？

ホシノ・ルリ

いまの状態で心から
祝ってあげられるの？

それは強化IFS (ルリ) による通常IFS (アキト) へのハッキング

…艦長…ミスマル・ユリカのように愛してほしい…
…それが一時の夢であっても…



私は…

…この想いを断ち切り…あきらめるために…



後方勤務の艦長が上官(ミスマル・コウイチロウ中将)の
つきそいで出張に行く事になりました

…公私混同です…



テンカワさんによると父と娘、最後の家族旅行
という事らしいです



D・DAY…



深夜…午前2時
…いつもテンカワさんの帰宅する時間…



テンカワさんは優しい…誰にでも



それでも…それだから私は…好きに
…愛してしまったから…



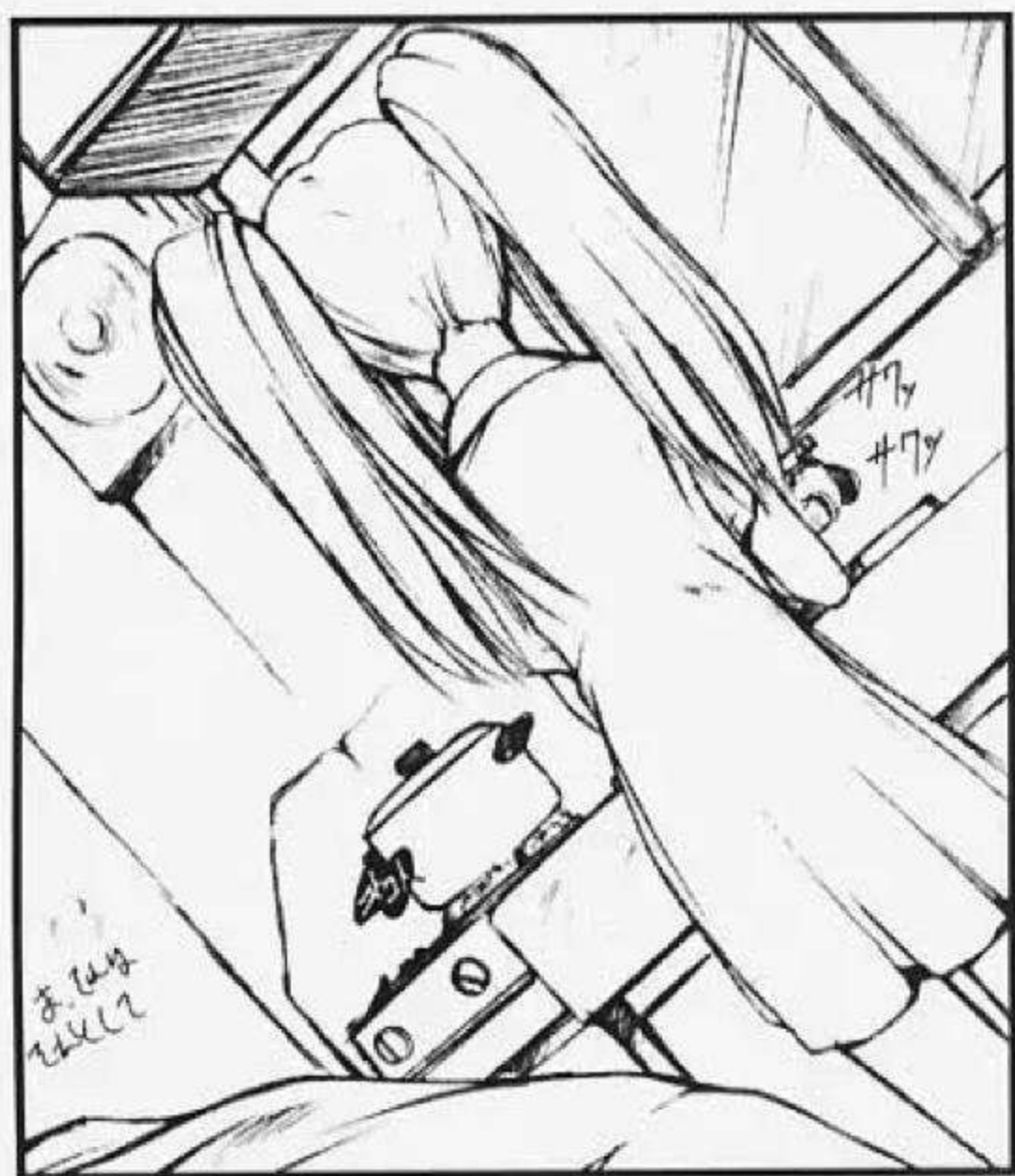
KAKO

— 過去 —

scene "RURI" part

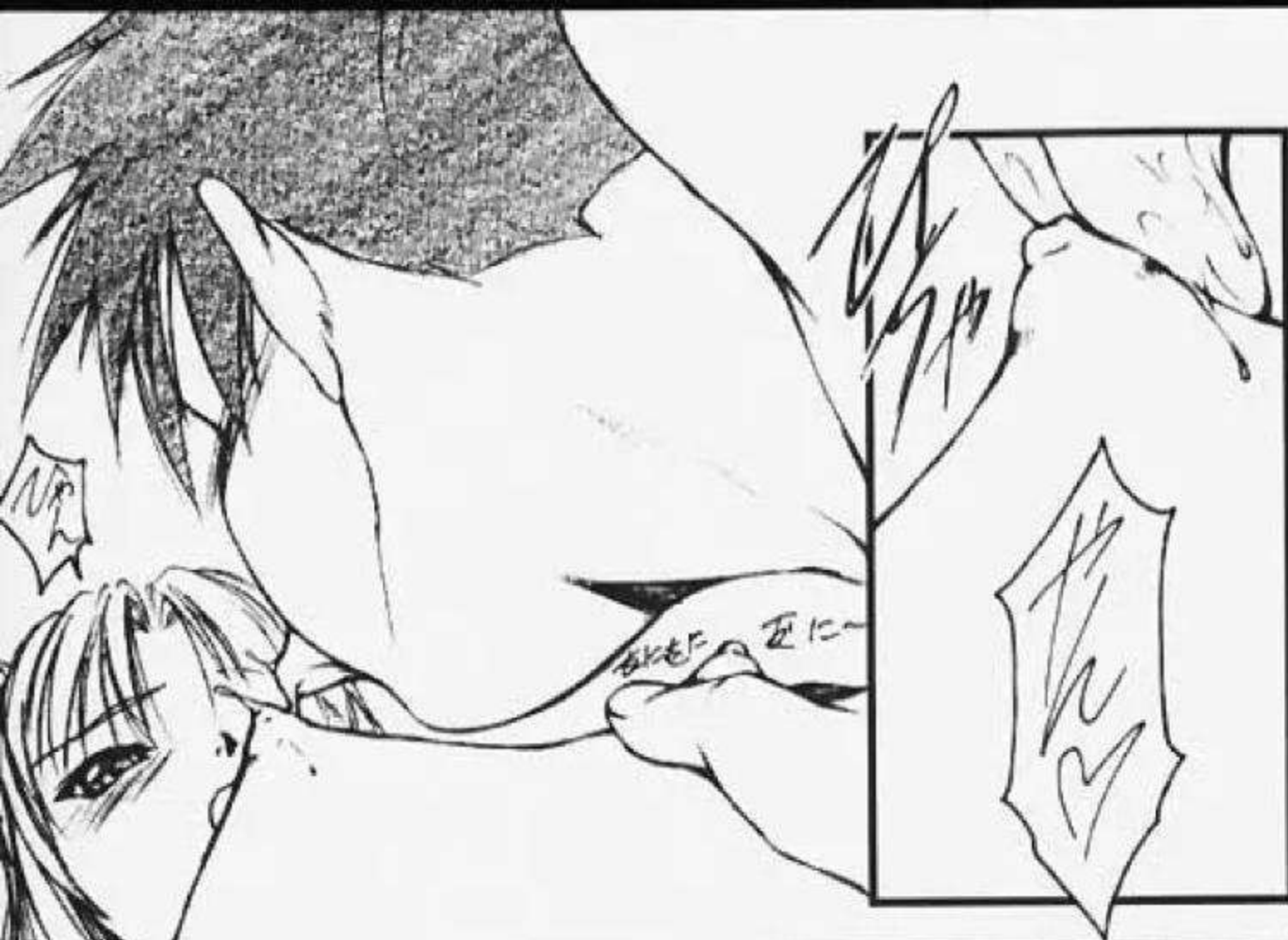
CRESCENDO III

presents by
"kimidori iro"











はい続き続き〜



はあ
はあ



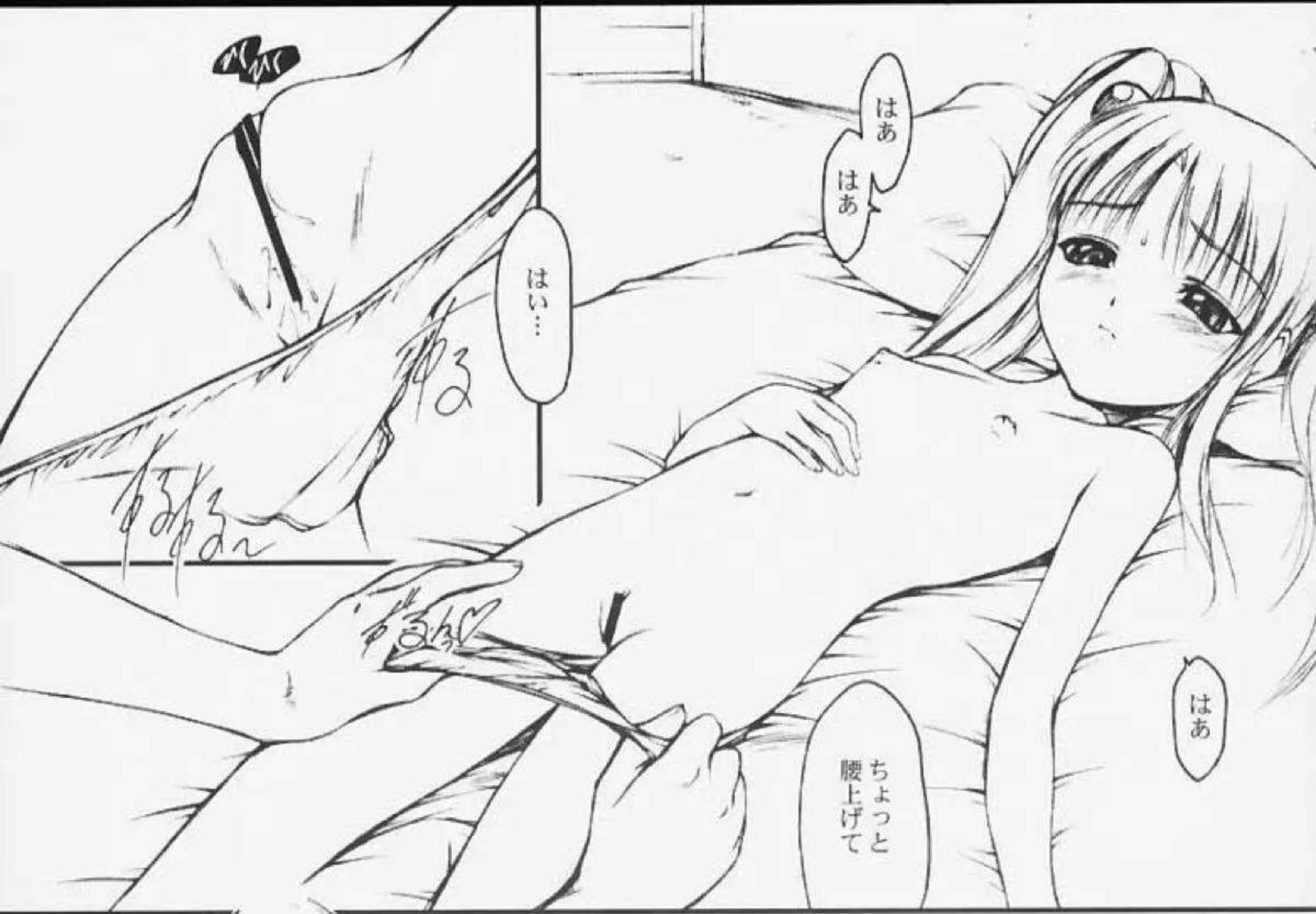
あらは
るは



まじで
おもしろい
本番!!

ルリ...









痛い

痛い

痛い

74
7474

はあ

はあ

ルリ!

はあ

ルリリ

リリ

はあ

テンカワさんの記憶では私と何度もセックスした事になっている



…私には初めての体験…体を二つに裂かれるような痛み…でも…



…この人がルリと名前で
呼んでくれるのが嬉しいから…
痛みなんてどうでも良かった…
今だけでもテンカワさんに
愛されたい…全てを愛したい…

子宮内
テンカワさんが私の中に精を放つ…

…じんわりと中に温かいのが広がっていく…

31 痛みと驚きよりも嬉しさのほうが強くとても心地良いものでした…

入ってきてる…

はあ

はあ

アキト…

はあ





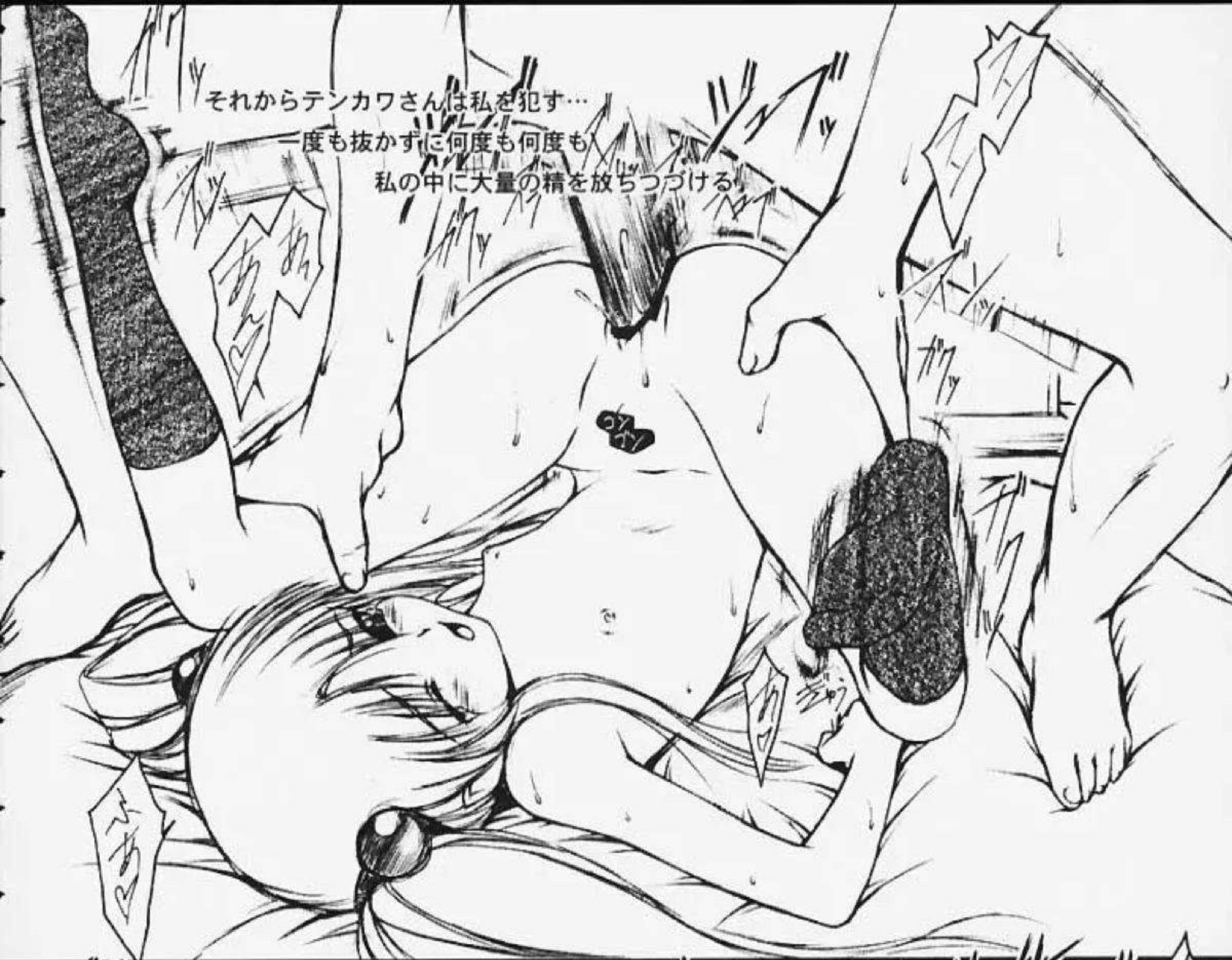
アキトの精を全部…
私の中にだして…

ルリ…いい…？

はい…
もちろんです

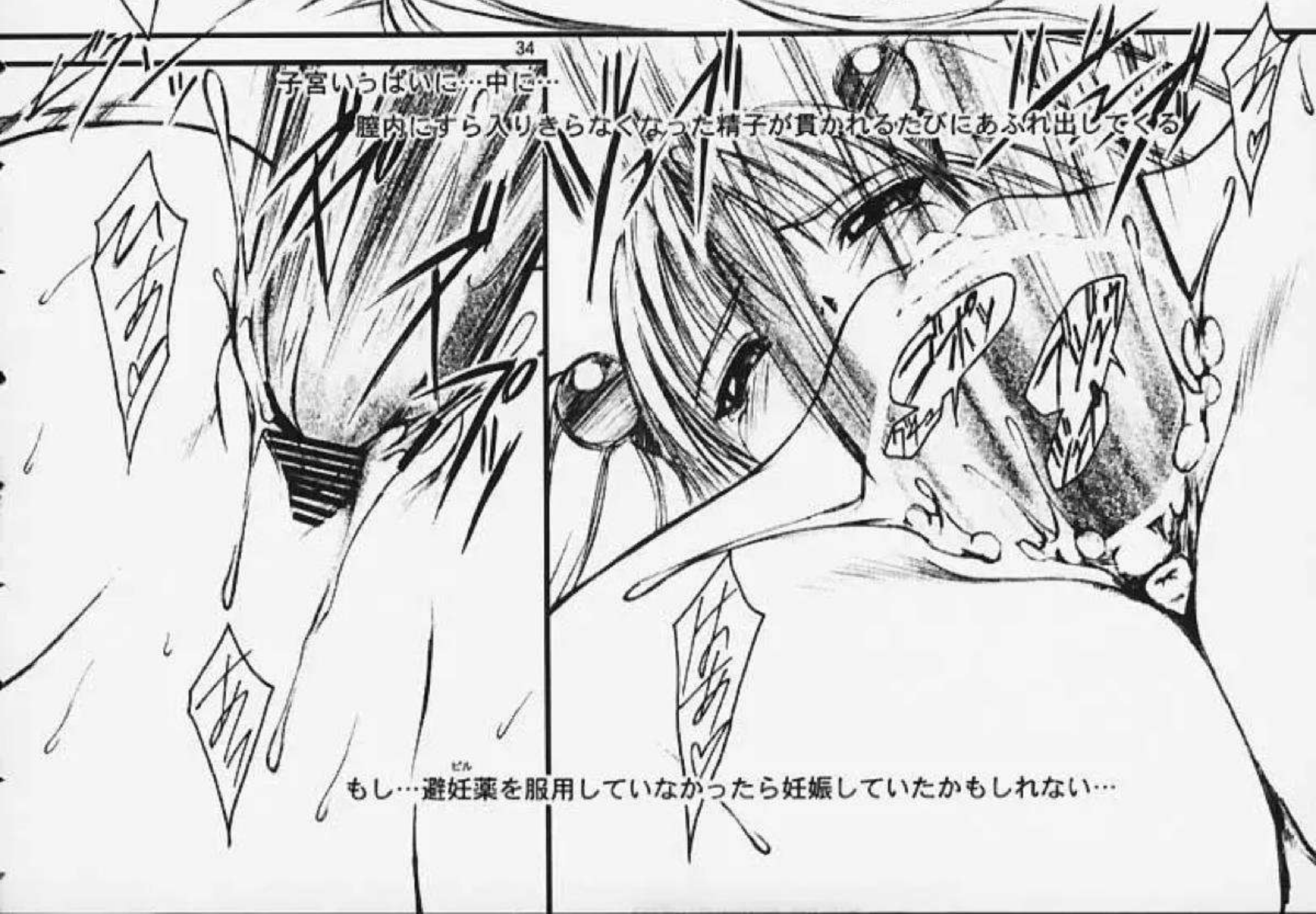
テンカワさんの激しい出入れで私のおそこはとても痛かった
それでもテンカワさんにもっとしてほしい…愛して…犯してほしい
たとえ一時の夢でも…テンカワさんを全部受け止められるなら
体なんて壊れてもいいとさえ…

それからテンカワさんは私を犯す...
一度も抜かずに何度も何度も
私の中に大量の精を放ちつづける



34

子宮いっぱいには...中に...
膈内にすら入りきらなくなった精子が貫かれるたびにあふれ出しでくる



もし...^{せん}避妊薬を服用していなかったら妊娠していたかもしれない...

…テンカワさんの子供なら…でも…それは許されない事…
…艦長は悲しみテンカワさんが傷つくから…



はあ
はあ

は

私はテンカワさんに意識が遠のくまで
何度も何度も激しく犯され続けました…

は



あれ？



いい汗
かいた！

ふー

はー

はー
はー



あ…

血だ…



白じゃなくて…
ピンク色？



これは…ルリ？

はー

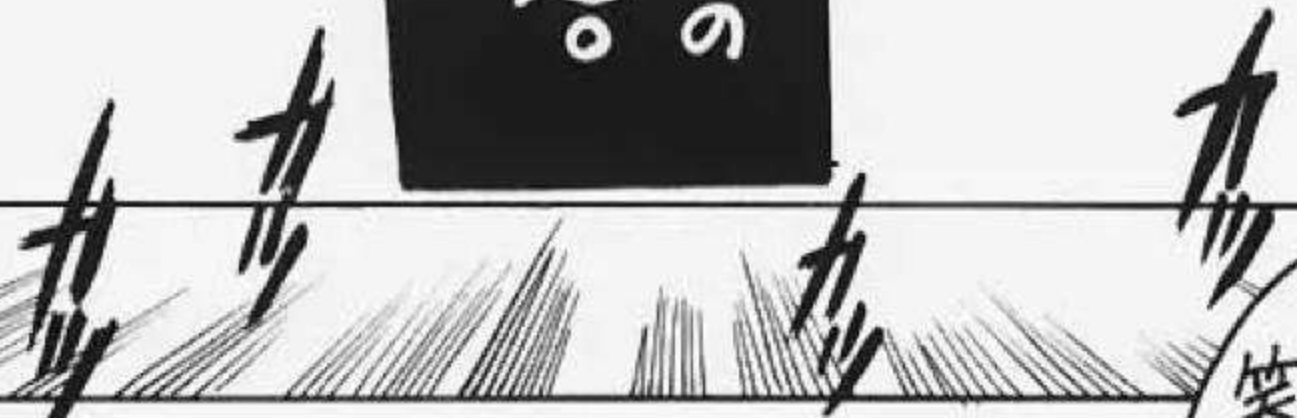
はー

はー

そなえあれば...

おとせとF 2000.12.24

火星からの
帰りの道。



見よ!!!
この晴る展開。

「都合主義
せと」
笑わば笑え。



アキト...
あ...

あ...
ア...

そっぴー!!



こんな事
もあろうかと。

ルリちゃんの
秘密の

パスコードを
解析し!!

こんな事も
あろうかと!!

ルリちゃんの
秘密...

あはあ

あはあ

ナミしい時間を、
秘密に計算!!!



ぞぞぞ
見ておれ!!

この技術
なぞおれ!!



うばたけ
すやほ〜
あはれ
あはれ

あはれ



こわい...

こわいぞ...

見壁すきる

自分がこわい...



あはれぞ。

禁断の
領域へ...



おまたせ♡
ルリちゃん

アキトだよ
十あ
ゆるろか。

自主規



キキキキ
アキト!!!

キキキキ
アキト

用済
え!

キキキ
銀の河
041-520-XXXX
ev~xxxxx~0

041520

041520

おしまい。

おつかれさまです。なにかうれしい中ありがとうございます

今回は、迷惑をおかけしました。(今回も?)

本当、ラピスで書きたかったことは
今回表現できたと思うのですが…。

エロイがなくてごめんなさい。

ラピスはロリィで大好きなキャラなんですけどねー。

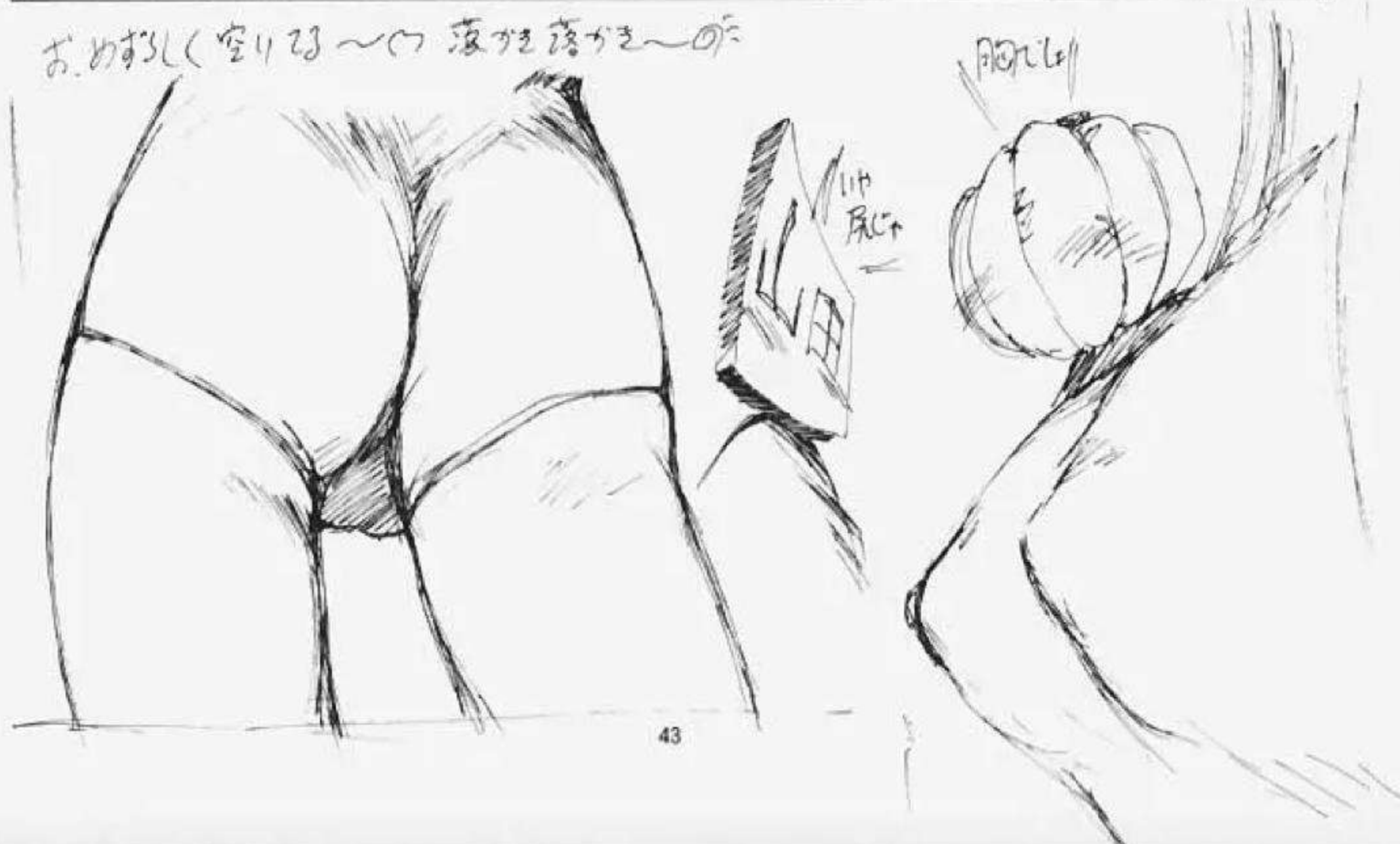
次はユリカです。

今度はエロいですね。って毎度ありがとうございます。



なにかおもしろいかな? おつかれさまです。なにかうれしい中ありがとうございます。おもしろいかな? おもしろいかな?

CRESCEND 4. ぷくか。





CRESCENDO

ADULT ONLY
III

Third

It is completely connected this time with the past story, too.
"RURI A-PART"
Associate a little more.